

New York Report

October, 2019

CONTENTS

* Project 1: PACKAGE FREE SHOP

1. PACKAGE FREE SHOP

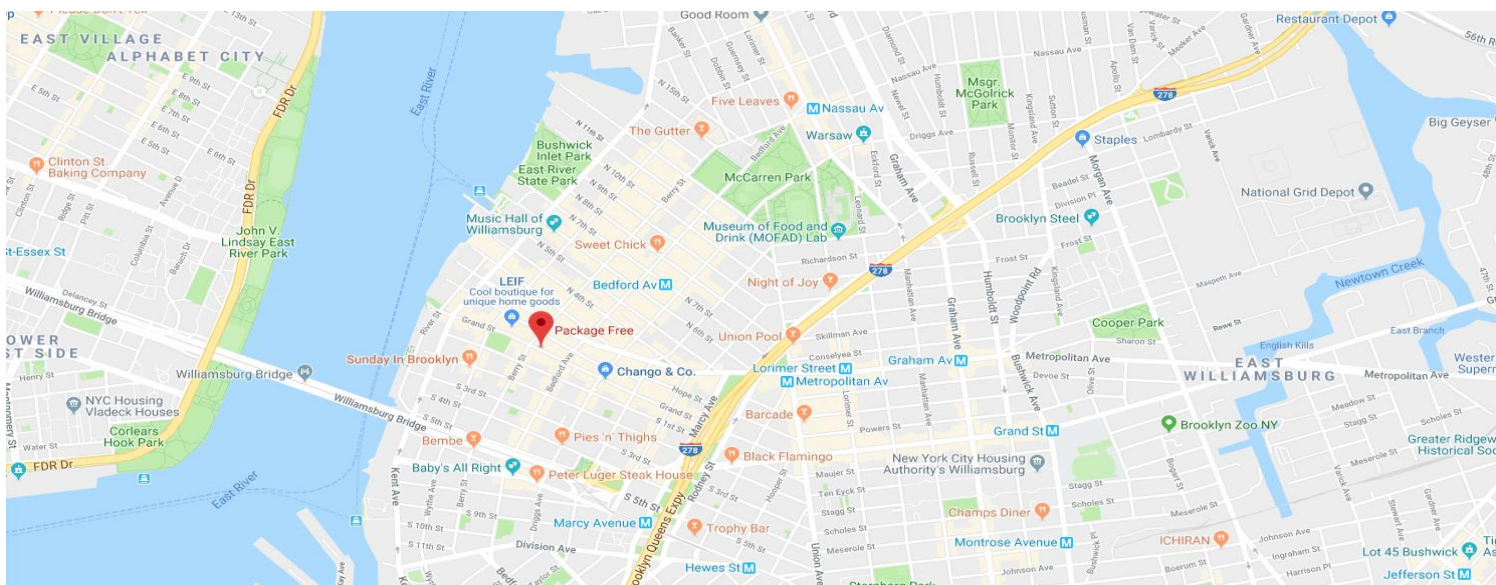
Project Overview

自身が出す4年間のごみを集積したら、それがなんと450gのメイソンジャー1つ分だったことで話題になったライフスタイル・ブロガーのLauren Singer。平均1日に2kgのごみを出すという米国人の生活に変革を起こすべく、彼女は“ZERO WASTE”な生活を推奨してきた。この考え方は、リサイクルよりもさらに一歩進んだサステイナブルな考え方として、遅ればせながらアメリカでも共感をもたれるようになってきた。そして、2017年には自身の発想を体現するショップ「PACKAGE FREE SHOP」をオープン。その名の通り、ごみとなる梱包材をできるだけ排除し、ゼロ・ウェイストな生活の必需品各種が販売されている。

店内の照明は、なるべく自然光を使うようデザインされ、日中はほとんど主なライトを消して省エネモードで営業している。売り場では、カテゴリーごとにエコ生活を啓蒙する細かなアイディアとともに商品が紹介されている。例えば、使用後は土に戻るビーワックスを使ったフードラップ、再利用できるステンレスのランチボックスなどの販売のほか、使用後無駄になってしまうプラスチックのストローをステンレスのマイストローに替える、コーヒーショップにカップを持参する、など店内はただ商品を販売するのみではなく、「ごみゼロ生活」を目指す上での様々な工夫を促す情報を提供している。ここ最近の「環境問題」への関心の高まりもあり、ブルックリンのショップには、以前よりも客足が増え、顧客の年齢層も下がっている点が話題となっている。

1. PACKAGE FREE SHOP
2. Fashion & Life style
3. Open Date: 2017
4. Location: Brooklyn
5. Target Customer: Local Consumer & Tourist
6. Store Concept: Envelopment Friendly Life Style
7. Website: <https://packagefreeshop.com>

Location Map





啓蒙的な言葉と、エコ商品をディスプレイしたショーウィンドウ



廃材を利用したディスプレイ



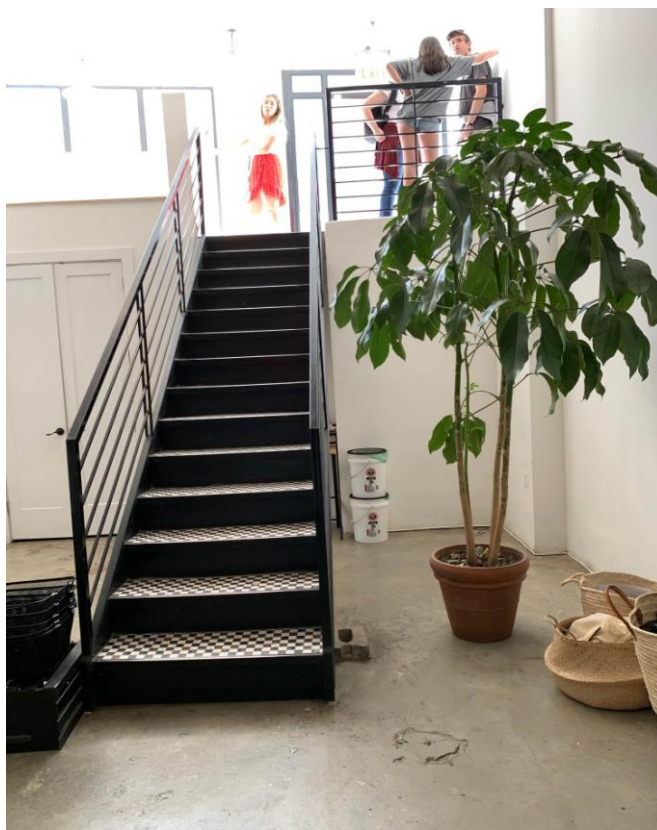
コスメコーナー



昼間は窓からの採光を利用し、照明をミニマムに抑えた店内



白と黒を貴重にしたシンプルな店)



エントランスの階段



カテゴリーごとに商品が陳列されている



マイボトル持参で購入する基礎コスメ



ステンレスのストローとボトル



人気のメッセージエコバッグ